

所属・氏名 (健康スポーツ学部 健康スポーツ学科 氏名：宮崎 龍二)

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) Development of IoT Educational Program for Workers to Learn about IoT from Hands-on Workshop (ハンズオンワークショップによる 社会人のためのIoT教育プログラム の開発)	共著	2020年3月	Current Researches for Applied Economics, Information Systems, Mathematics and OR	第4次産業革命におけるコア技術は最先端技術 であるため体系化がなされていないものもある。 本研究では、これらのコア技術の一つである IoT に焦点を当て、社会人向けの技術概要と演習経 験を含めた教育プログラムの開発を行い、フルタ イムエンジニアのためのワークショップの実践に ついて報告した。 (総ページ数:10頁) 共同発表者:H. Dekihara, T. Ochi, R. Miyazaki and T. Ozaki 担当部分の概要:共同研究につき本人担当部 分抽出不可能
1 (学術論文) Measurement of Foot Arch Height During Gait Using Smartphones or Action Cameras (スマートフォン及びアクション カメラを用いた歩行中のフット アーチ計測手法)	共著	2019年12月	Journal of Information and Communication Engineering	一般的なスマートフォンやアクションカメラと連動 するコンピュータビジョンベースの骨マーカー追 跡システムを開発した。このシステムにより、歩行 中の骨、関節の動きと変形の問題を定量的に判 断可能となった。 (総ページ数:7頁) 共同発表者:K. Morinaga, T. Tsuji, K. Matsuura, S. Ishihara and R. Miyazaki 担当部分の概要:共同研究につき本人担当部 分抽出不可能
2 (学術論文) High-Resolution Representation for Mobile Mapping Data in Curved Regular Grid Model (Curved Regular Grid モデル におけるモバイルマッピングデ ータの高解像度表現)	共著	2019年12月	Sensors	モバイルマッピングシステムから得られた大規模 3次元点群から、ドライブシミュレーターなどで広 く使用されている Curved Regular Grid(CRG)モ デルを生成する手法を開発した。CRG モデルに 必要な道路中心線を表す曲線パラメータや幅 員、格子点上の高さなどの必要なパラメータを3 次元点群から抽出、推定することで高解像度な CRG モデルの生成が可能となった。 (総ページ数:17頁) 共同発表者:J. Su, R. Miyazaki, T. Tamaki and K. Kaneda 担当部分の概要:共同研究につき本人担当部 分抽出不可能
3 (口頭発表) Development of Virtualization Educational Program for Employees to Meet the Era of the Fourth Industrial Revolution (第4次産業革命に向けた社 会人のための仮想化技術教 育プログラムの開発)	共著	2019年11月	Proceedings of E-Learn: World Conference on E-Learning in Corporate, Government, Healthcare, and Higher Education	第4次産業革命におけるコア技術にはAI、IoT、 ロボット工学などのいくつかの技術で構成され る。しかし、これらの一部は最先端の技術である ため体系化がなされていないものもある。本研 究では上記コア技術の一つである仮想化技術に 焦点を当てた、社会人向けの技術概要と演習経 験を組み込んだ教育プログラムの開発を行った。ま た、フルタイムエンジニア向けのワークショップの 実践について報告した。 (総ページ数:6頁) 共同発表者:T. Ozaki, T. Ochi, H. Dekihara and R. Miyazaki 担当部分の概要:共同研究につき本人担当部 分抽出不可能